

2. 新しいまちの目標

(1) 将来像

若者・女性・地域がかがやき こどもの笑い声が響く「誇れる郷土・秋吉台のまち」

本市の人口は、国の予測を上回る勢いで減少しており、将来人口推計によると、2030年には2万人を割り込み、2045年には1万5千人を下回るなど、市として存続の危機的な状況が推測されます。また、毎年約500人以上の人口減少が続いており、特に、年間に生まれてくる子どもの数が100人を下回るなど、少子化が大きな課題となっています。

このことから、本市で若者世代が定住し、結婚しやすい環境をつくること、人口減少の抑制につながり、持続可能な美祢市をつくる上で最も重要なことと考えられます。

こういった若者世代が暮らしやすいまちづくりを行うためには、市内及び近郊において、若者が就業したい仕事の創出、定住地として選択するための子育て・教育環境の充実、暮らしを支える商業やサービスの利便性が重要となります。その他、子どもの頃からのふるさと学習によるふるさとへの誇りの醸成に加え、地域伝統芸能活動や活発な若者のコミュニティ・サークル活動など、若者世代を支える地域基盤と活躍できる場づくりが必要となります。さらには、市の豊かな経済循環も必要であり、産業の活性化の諸施策に重点的に取り組まなければなりません。この経済・産業基盤の確立により、便利で快適な住生活環境や若い世代が本市に誇りと夢・希望を持てる環境を整え、いきいきと活躍できる場を市民、企業、地域など多様な主体と共に創造していきます。

また、女性の社会進出や男女が共に活躍する場を充実させるため、子育て環境の整備・充実、医療の確保などの対策は子育て世帯にとって重要な課題となります。子どもは地域の宝であり、幼少期から高校生に至るまで、多様な教育環境の充実は欠かせません。そして、市民協働による地域振興と多様な地域の担い手育成により、地域と共に子どもを守り育てる安全・安心な環境をつくっていきます。

地域経済を活性化させ、賑わいを創出し、生活の利便性が高く、子育て環境・教育の充実したまち、更には、情報ネットワークを活かした住みやすい生活環境を創出していきます。

以上のことを踏まえ、本計画においては、秋吉台を中心とした美祢の大地に子どもの笑い声が響く、若者・女性・地域が元気なまちをつくりあげるため、「将来像」として「若者・女性・地域がかがやき、こどもの笑い声が響く、誇れる郷土・秋吉台のまち」を掲げます。

(2) 基本理念

秋吉台の魅力を活かし、みんなの力で創り出す！

「観光・産業共創CITY」

加速度的な人口減少と少子高齢化が進み、過疎化と共に地域の存続が危ぶまれる中で、本市が目指すまちの将来像を実現させるためには、活力ある産業を創出し、産業に携わる人を増加させ、活気ある経済循環を起こすことで地域経済を豊かにする必要があります。これにより雇用が生まれ、若者の定住と女性の活躍を生み出すことにつながります。

活力ある産業の創出にあつては、本市の強み・魅力、そして持ち得る豊かな資源を十分に活用し、最大限引き出していく英知と力が必要です。そのためには、行政の画一的な施策展開や縦割りの役割分担からの脱却を図り、市民や関係団体、企業や金融機関、大学などと多様な連携を図り、枠組みを超えて有機的な結びつきを図っていく必要があります。

特に、強み・魅力である秋吉台を中心とした観光を本格的な産業化に結び付け、ツーリズムや食の開発、ブランド製品の流通から販売など、一次産業から三次産業、さらには六次産業化を含めた一体的な観光関連産業の推進を行います。

また、地域から全国へ展開するためのマーケティングを図りながら、食の開発や六次産業の振興など本市のブランド力を高めるとともに、本市の豊かな土壌で育つ特有の農産物を全国ブランドに昇華し、一体的な食の産業化を図ります。

さらに、やる気と活力ある起業家や都市圏の豊かな人材の確保により、市の産業力の強化による新たな産業の創出と活性化を図ります。

これらを踏まえ、これからの 10 年のまちづくりの指針として、基本理念に『秋吉台の魅力を活かし、みんなの力で創り出す！「観光・産業 共創CITY」』を掲げ、活力ある産業を創り出すことで豊かな経済基盤を築き、利便性の高いまちをつくることを通じて、「将来像」の実現をめざします。

若者・女性・地域がかがやき

こどもの笑い声が響く「誇れる郷土・秋吉台のまち」



計画の主眼・目的

人口減少社会の克服・持続可能なまちづくり

(3) 基本目標

将来像を実現するため、基本理念に基づき、まちづくりの目標として5つの基本目標を設定します。

- ① **安全・安心な「まちづくり」**
- ② **「魅力の創出・交流」の拡大**
- ③ **強みを活かした「産業の振興」**
- ④ **市の宝となる「ひとの育成」**
- ⑤ **「行財政運営」の強化**

基本目標1：安全・安心な「まちづくり」

今後、医療・福祉・介護の需要が大きくなるものと見込まれる中、社会保障制度の安定した運営を図るため、市民一人ひとりが自らの健康に関心を持って取り組む健康づくりを推進しつつ、求められる医療の体制構築を図ります。

高齢者や障害者などの支援が必要な人が安心して暮らせる「地域共生社会」の実現に向けて、医療・福祉だけでなく、各分野が連携した地域における包括的なケアシステムを推進します。

人口減少時代に対応し、コンパクトで住みよい環境整備を通じて、生活インフラ対策、環境対策などに率先して取り組み、定住と移住促進など、誰もが快適に暮らせるまちづくりを進めます。また、防災・減災の対策を充実し、災害に強く、安全で快適に過ごせる都市の基盤づくりを進めます

暮らしの安全確保、地域公共交通の充実を図り、利便性の確保と都市拠点機能の集約によるにぎわいを創出し、拠点ネットワークが支える計画的なまちづくりを推進します。

【基本方針】

1. 健康の維持と福祉・医療サービスの充実
2. 誰もが快適に暮らせるまちづくり
3. 安全なネットワークによる都市基盤づくり

基本目標 2 : 「魅力の創出・交流」の拡大

秋吉台・秋芳洞をはじめとした本市の強みである観光資源を更に市民の誇りとするため、新たな活用や地域と一体となった取組によりその魅力を最大限に高め、県内外・都市圏等への発信を強化することで、魅力の創出と交流人口・関係人口の拡大を目指します。

市民によるおもてなしに磨きをかけ、観光を中心とした産業の育成により発信力を高めます。さらには、本市が誇る自然・文化財の保全と活用を図り、交流によるひとの関係づくりを促進させます。

【基本方針】

1. 観光の振興と魅力の創出
2. 交流・関係の拡大と発信の強化
3. 自然・文化の保護と活用

基本目標 3 : 強みを活かした「産業の振興」

第一次産業や第六次産業など各産業を戦略的に推し進め、若者や女性が活躍する活力ある産業を創出し、新たな雇用や新規参入などを促進します。

農林水産業では、資源を有効に活用し、生産力の強化を図るとともに、担い手・後継者の育成に努めます。

商工業では、地域ブランドの振興を図るほか、地場産業の育成や付加価値の向上など、地域内連携を図り一体的な取組を推進します。

また、豊かな水資源や立地条件、有効的な土地の利活用をPRし、企業誘致や起業の促進などに取り組みます。

【基本方針】

1. 特色を打ち出した農林水産業の振興
2. 商工業の振興と企業誘致の促進
3. 魅力産業の振興と地域内経済の活性化

基本目標 4 : 市の宝となる「ひとの育成」

子育て世代に対し、少子化対策を重点に、本市で子どもを産み育てるための総合的な環境整備を行います。

次世代を育む教育環境の充実を図るため、多様な学びの手法・機会を創出し、求められる人材像への育成を行うほか、地域や大学との連携によるふるさと学習など、本市への誇りを醸成します。

芸術・歴史・文化の振興による学びの場やスポーツ活動に触れられるよう、地域の担い手の育成と生涯学習を推進します。

また、外国人観光客や海外からの労働力の受け入れが増加していく中、多文化と触れ合い、共生する時代となることから、多様な価値観を認め合い、ともに手を取り合える社会の実現を目指します。

【基本方針】

1. 健やかに子どもを産み育てられる環境づくり
2. 生きる力を高め、将来を担う人づくり
3. 生涯にわたり、豊かなつながりを育む地域づくり
4. 互いに認め支え合えるまちづくり

基本目標 5 : 「行財政運営」の強化

安定した行財政運営と持続可能なまちづくり、市民サービスの一層の確保に向けて積極的な行政改革を推進します。特に、民間活力の活用や地域力の向上により、行政だけで全てを担う時代から産・学・官・民の協働による運営を行う時代への転換を進めます。

そのため、人材育成と弾力的な機構改革、情報通信技術の活用により行政サービスの進化を図ります。さらには、市民、民間などの多様な主体が参画し協働のまちづくりを進めるため、まちの現状、課題、取組を積極的に広報し、情報発信に努めます。

【基本方針】

1. 効率的・効果的な行財政運営
2. 市民が主体の協働のまちづくり